

会報 習志野隊友

習志野空挺団 三年ぶりに

降下訓練初めを一般公開

習志野自衛隊・陸上自衛隊第一空挺団による毎年1月初頭の「降下訓練初め」行事は、広く一般市民にも公開され、多くの市民が待ち焦がれる一大イベントである。しかし、ここ数年、コロナウィルス感染防止の事由で同行事の一般公開は見送られて来た経緯がある。この度、コロナウィルス感染がようやく下火になった本年1月8日、降下訓練初め行事が3年ぶりで一般公開され、約1万人の市民が習志野演習場に押し寄せ、我々が精強第一空挺団の力強い訓練展示に熱い拍手を送った。

習志野に所在する第一空挺団は、陸上総隊直轄で、国土防衛に際し全土に機動展開を任務とする部隊である。自衛隊唯一の落下傘部隊であり、その精強性と実力は、国内は言うに及ばず、海外においても高い評価を得ている。

昨年1年を振り返っても、4月には米空軍機からの習志野演習場における降下訓練を、5月下旬から6月上旬に

は東富士演習場において第1普通科大隊・後方支援隊・偵察小隊の訓練検閲を、6月下旬には相馬ヶ原演習場においてヘリボーン訓練を、7月下旬から8月上旬には多国籍軍共同訓練「ガラダ・シールド22」に参加して、米国グアム島及びインドネシアのスマトラ島において降下訓練を、また8月下旬には房総保田海岸における水上降下訓練及び東富士演習場における特科大隊の実射検閲を、9月には沖縄県与那国島での自由降下訓練を、10月上旬には九州の日出生台演習場において空挺団総合演習を、10月下旬から11月上旬には東富士演習場において第3普通科大隊・施設中隊・誘導小隊の訓練検閲を行うなど、年間を通じ東奔西走の訓練錬磨に勤しんでいる。また、若松空挺団長自らは最前任上級曹長を帯同して、9月、オランダにおけるNATO諸国等の国際空挺指揮官会議に日本としては初めて出席し、相互の意見交換と友好の絆を深めるとともに、日本国空挺の旧軍以来の伝統と精神を披瀝し、参加各国代表に深い感銘を与えたものである。

好天に恵まれた1月8日、浜田靖一防衛大臣(衆院千葉12区)を迎えて、

習志野演習場において、令和5年の陸上自衛隊第一空挺団の降下訓練初め行事が行われた。今年の訓練展示の主体は、最近の我が国周辺の情勢を反映した離島奪還作戦シナリオに基づく一連の流れの展示であった。

久しぶりの降下訓練初め一般公開の呼び掛けに応じて習志野演習場に馳せ参じた市民は約1万人。有事が懸念される台湾に近い南西諸島(沖縄、鹿児島両県)は無数の離島が点在し、昨年12月に改定された「安保3文書」では、空挺部隊の機動的な運用が明記されていることもあり、参加した市民のそれぞれは、展示された離島奪還作戦の一連の流れを興味深く見守った。今年の降下訓練初めには、陸自を主体とした自衛隊員約1千人に加え、米国、英国、オーストラリアの各国軍から計約1000人が参加した。このうち、英軍、豪軍の参加は今回が初めてで、米英軍は離島奪還訓練にも加わった。日米英豪の4カ国軍の空挺共同訓練の実施は今回が初めてで、これらは、中国等を念頭に置いた



習志野の空を埋め尽くす落下傘

東アジアの厳しい安全保障環境が背景となつての各国軍連携気運の高まりとも考えられる。

ともあれ、米空軍第374空輸航空団所属のC-130輸送機からの米軍隊員の落下傘降下、米海軍第5空母航空団所属のMH-60多用ヘリからヘリボーン、米陸軍第82空挺師団・第11空挺師団・第1特殊部隊群(通称グリーンベラー)・英陸軍第16空中強襲旅団の兵士達が落下傘降下して陸自隊員と共に戦鬭行動をとる姿を目の当たりに見て、我々市民一同、感動に胸の熱くなる思いがしたことだった。

離島奪還訓練展示では、他国が日本の離島に侵攻したと想定。奪還に向け、陸自の先遣部隊が落下傘で離島に降下

し、その誘導に基づき艦艇や航空機による火力支援が行われたとした上で、第一空挺団の隊員らが輸送機から相次いで降下した。

降下した隊員らによる地上戦鬭を支援するため、ヘリコプターで運ばれた後続部隊や水陸機動部隊などに続き、戦車を含めた主力部隊が上陸。離島を事実上取り戻した後、来援した米英軍の空挺部隊が降下して地上に展開したところで、訓練展示の状況終了が告げられた。

訓練の終始を視察した浜田靖一防衛大臣は、第一空挺団の隊員らに対し、「我が国を含む国際社会は深刻な挑戦を受けるなか、諸君一人一人が果たすべき責務は一層重く、国民からの期待もより大きなものとなっている」と訓

示し、更なる職務への邁進を求めた。

展示訓練終了後の野宴においても、日米英豪空挺部隊員が呉越同舟、互いに盃を挙げ、隊歌を応酬し、元氣一杯、大いに盛り上がった宴となった。

なお、隊友会習志野支部は、例年にならい、ささやかながら、激励の意をこめて野宴酒肴料を贈呈した。

お知らせなど

▽ 会員のご逝去

・谷 喜弘 様 藤崎三丁目
(令和3年11月ご逝去)

▽ 退会会員のご連絡

諸般の事情により、左記の方が隊友会を退会されました。これまでのご厚誼に感謝し、今後のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。

・村上 勝芳 様 実籾六丁目
(令和4年10月ご退会)

・阪 吉三 様 秋津三丁目
(令和4年2月ご逝去)
・山田 正二 様 秋津二丁目
(令和4年10月ご逝去)

ご逝去を衷心より悼み、生前のご厚誼に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。



空自機から降下する陸自隊員



米軍機から降下する米軍隊員



ヘリボーンで降着した後続部隊



主力部隊の戦鬭加入



浜田靖一防衛大臣